

2018年3月号

衣類のお手入れ通信

3月は弥生といいますが、これは草木の芽吹きや成長の様子から「弥」が「いよいよ」、
「生」は「生い茂る」という意味が由来です。英語では March（マーチ）。これはローマの
軍神 Mars が由来で「進もう」「躍動しよう」というイメージだそうです。お国は違っても、春は新しい動きを感じて進んで行こうとする季節なのですね。

【衣類をしまう際にやってはいけない3つの落とし穴】

衣替えで衣類を出してみたら、覚えのない汚れや変色、虫食いを発見してガッカリした経験
はありませんか？そこで「衣類をしまう際にやってはいけない3つの落とし穴」をご紹介します。
ます。

1.<一度しか着用しなかったのに、洗わずにそのまま片付けよう>

着用した衣類を洗わずにそのまま片付けると、後で出したときに覚えのないシミが浮き出
ていたり、首周りが黄色く変色していたりします。衣類は一度でも着用すると目に見えなく
ても必ず汗や汚れが付き、シミや変色の原因となります。また、化学繊維は虫に食われないと
思われていますが、汗や汚れがついていると繊維の質にかかわらず虫食いの原因になりま
す。一度でも着用したら、必ず洗ってから収納しましょう。

2.<天気が良いからウールやシルクの衣類を天日干ししよう>

しまう前に衣類の湿気を取り除くことは大切なことですが、春は虫の産卵期です。虫は動物
性の繊維を好むため、ウールやシルクの衣類に卵を産み付けます。ウールやシルクの衣類を
室外や窓際に長時間干すのは控えましょう。

3.<虫食い防止のために色々な種類の防虫剤をタンスに入れておこう>

異なる種類の防虫剤を同時に使用すると、薬品が互いに化学反応を起こして衣類を変色させ
ることがあります。使用する防虫剤は一種類に統一しましょう。また、金糸や金属の付属品
の付いた衣類に防虫剤を使用するのは危険です。金属部分がもろくなったり、周りが変色す
ることがあります。防虫剤によって安全性は異なりますので、必ず使用説明に従ってくださ
い。市販品の中ではピレスロイド系のものが一番安全ですが、無臭性のため交換時期を忘れ
ないように注意してください。薬品を使いたくない場合には、月桂樹などの虫を寄せ付けな
い効果を持つハーブを活用するのもひとつの方法です。これら3つの落とし穴に注意して衣
類を収納し、次の衣替えには気持ちよく大切な衣類と対面したいですね^^

定休日：日曜日・祝日

営業時間：7時30分～19時

〒496-0901 愛知県愛西市佐屋町新田1-6 TEL・fax0567-26-9880 <http://105-929.com>

発行者：東郷俊博

愛知県愛西市、弥富市、蟹江町、飛島村、津島市、集配致します。